

様式第2号（第8条関係）

審議会等会議録

会議の名称	加須市立大桑小学校・大桑幼稚園 第2回学校・幼稚園評議員会議
開催日時	令和 5年 11月 27日（月） 10:00～（所要 1時間30分）
開催場所	加須市立大桑小学校 校長室
議長氏名	
出席委員	秋葉 功 、 加納 静子 、 岡田 由佳理
欠席委員	杉田 貴洋
会議次第	1 2学期以降の教育活動について 2 授業・保育参観 3 学校評価について 4 情報交換
会議資料の名称	第2回学校・幼稚園評議員会議
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	0人
説明者の職・氏名	校長・園長 隈元 俊介
事務局職員の 職・氏名	教頭 萩原 健司 副園長 飯田 宏美 主幹教諭 新井 宏美
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	



様式第 3 号 (第 8 条関係)

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
教頭	<p>1 開会のことば</p> <p>ただいまより、第 2 回大桑小学校・大桑幼稚園評議員会議を始めます。司会を担当します、大桑小学校教頭、萩原でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>この評議員会議は市の規定に基づきまして公開ということになっております。つきましては、第 1 回と同様に学校のホームページでも開催について周知をさせていただきました。この会議につきましても記録を取らせていただき、会議録という形で市に報告をし、ホームページにも公開をさせていただくこととなりますのでご了承いただきたく存じます。なお、個人情報に関わる案件につきましては一部非公開とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
校長	<p>2 あいさつ及び 2 学期以降の教育活動について</p> <p>本日の学校・幼稚園評議員会議にご出席をいただき、誠にありがとうございます。また、日頃より本当に子供たちのため、ご尽力いただき、ありがとうございます。2 学期は、1 年間で 1 番長く、幼稚園も含めまして行事がたくさん組み込まれています。幸い、天候にも恵まれ、全ての行事が滞りなく実施されました。本校の教育目標である「一人一人が輝ける学校」ということで運動会の時に競技をすごく頑張ったり、鼓笛を頑張ったり、または修学旅行の班長としてしっかり役を果たしてくれたり、色々な場面で授業だけでは見られない子供たちのよさが発揮できたと思っております。大きな事件・事故もなくここまで順調に学校行事を進めることができました。また、学校の教育活動・学校生活も順調に送ることができております。これから学期末となり、成績処理等で目が子供たちから離れがちになる時期になりますので、今まで以上に気をつけて見守っていこうと思っております。</p> <p>資料に、7 月から 12 月の学校だよりを添付しましたので、一言コメントを入れさせていただきます。7 月に入る直前、次の目標に向かって準備を怠らずに、ということで、夏休みを迎えて子供たちに 2 学期以降の目標を持って夏休みを過ごしてほしいということでこのタイトルをつけさせていただきました。右側のオープンスクールの報告をご覧になっていただくと分かる通り、コロナ禍が開けていろんな活動の制限がなくなりました。学校としては極力たくさんの人に教育活動を見ていただきたい、またたくさんの人に、ゲストティーチャーと</p>

いう形で、専門的な知識を持った人たちが来ていただいて事業をしていただくという機会を増やしていこうという風に考えております。また教員も、今まで学校の外に出て他の学校の授業を見るということが、コロナ禍でできませんでした。コロナ禍も解除になりましたので積極的に特に若い教員は市内にも優秀な教員がたくさんおりますので、そういう教員の授業を見る機会をつくっていきたいと思います。9月号は、全国学力・学習状況調査の結果についてです。学力向上は本校だけではなく加須市全体の喫緊の課題となっております。本校の子供たちは基本的なこと、一問一答式は強いです。要するに計算をして解く・答えを導く、これは強いです。弱い部分としては、例えば2つの図形を比べてどちらが大きいかという問題では、どう説明していいのか、どう表現していいのか、という部分では諦めてしまう子が多い傾向にあります。10月号「言葉の重みについて考えよう」ということですが、2学期のなかだるみの時期ということで載せました。友達に「あなたのこと言ってたよ」という子がいます。言う方は親切心で言ってるのかもしれませんが、そのことが人間関係のトラブルの一つの原因になってしまう、ということがありましたので、言葉の重みについて書かせていただきました。11月号は「家庭学習のすすめ」というタイトルで書かせていただきました。1年の中で1学期の6月と2学期の11月が一番色々な事件・事故が起こりやすい時期です。そこで学習にもう1回目を向けてほしいということで、家庭学習のすすめということで書かせていただきました。今月号の内容については、教員でも必要なことだと思います。やはり1年間の締めくくりということで今まで自分たちがやってきたことをもう1回振り返って本当に学校生活の決まりの中で、やれること・やらないといけないことをしっかりやって1年を締めくろうという意味で、このタイトルをつけて書かせていただきました。子供たちはいろんな確かに細々としたトラブルはありました。でもそれも大きな目で見れば大人になる一つの糧になるものかなと思います。友達と喧嘩した中で、自分がどう振り返って反省するのか、相手の気持ちをどう理解してあげるのか、そういうことを学ぶのも一つの勉強なのかなという風に感じております。気を緩めることなくいい形で締めくくりだと思います。今後と、ご指導のほどよろしく願いいたします。

### 3 授業・保育参観（幼稚園→小学校の順に） （省略）

主幹教諭

#### 4 学校評価について

「学校教育アンケート」についてご説明申し上げます。このアンケートには、毎年一度学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づいて学校運営の改善を図っていくという目的がございます。学校評議員の方のお力もお借りしまして評価をしていただき、改善という形につなげていけたらという風に考えております。学校教育目標は、「思いやりのある子、進んで学ぶ子、元気でたくましい子」です。目指す学校像として「児童一人一人のよさをみんなで認め、みんなが輝ける学校」を掲げております。指導の重点につきましては裏面にも続いておりますので参考にさせていただき、この後の休憩の時間を使いながら、学校評価アンケートにご記入をいただきますよう存じます。記入の仕方については、「あいうえお」の5つの項目を設けております。「あ」そう思う、「い」どちらかといえばそう思う、「う」どちらかといえばそう思わない、「え」そう思わない、「お」わからない、となっておりますので回答する箇所に丸をつけてくださいますようお願いいたします。また、一番下に学校の取り組みや事業の様子について何かご意見などございましたら、そちらに書いてくださいますようよろしくお願いいたします。

岡田委員

#### 5 情報交換

自分の子の学年以外を見て、上の学年はしっかりしていると思いました。桑の実学級の細かい作業に感動しました。見れてよかったです。

校長

桑の実学級（特別支援学級）は5クラス、33名、市内で一番児童数が多いです。在籍については、市内の会議・保護者の意向で決定します。次年度から通常学級に移る子もいれば、桑の実学級に新たに入る子もいます。次年度の在籍等に向けての弾力的運用もしています。

加納委員

落ち着いて学習していたと思いました。教職員の苦労がわかりました。学校行事等にも楽しく参加させていただいています。運動会とか久しぶりに全員揃い、いい運動会でした。自分の頃は、種目自体が目的でしたが、今は演出やしかけが上手になっているのを感じました。子どもたちが楽しくなるような企画がされていました。子どもたちもテキパキと行動していて、進行もスムーズでよかったです。鼓笛も暑い中の練習にもかかわらず、よくできていたとかんじました。鼓笛発表では、金管に対してリコーダーの響きが小さかったように感じまし

	<p>た。せっかくがんばっていたのに、あまり聞こえなかったのが残念でした。鍵盤ハーモニカ等も使ってもよいのではないかと感じました。全体的にはとてもよい運動会でした。</p> <p>ニュース等でインフルエンザの流行があつて心配です。参観時に空席もありましたが、インフルエンザは流行っていますか。</p>
校長	<p>今月の最初に2、3人クラスにいました。学級閉鎖の心配があつた時期もありましたが、そこから減ってきています。今のところ大きく広がることなく推移しています。</p>
加納委員	<p>家庭学習について、校長が自主学習ノートを見ているのがすごいと思いました。</p>
校長	<p>自主学習ノートは、1冊終わると児童が校長室に持ってきます。3冊終わると、ノートがもらえることになっています。</p>
加納委員	<p>「脱一斉授業」について、4年生の授業をみたら、一人で考えている子もいるし、2から3人でまとまっている子もいました。昔のようにグループが決められているわけではなく、子供の思いで活動しているので、まとめるのは大変だろうと思います。そういうチャレンジをしているのはよいことだと思います。タブレットの使い方も上手だと思いました。課題は、タブレットとノートの両立をどうするかだと感じました。手で書くことの大切さもあります。教師が黒板を使わなくなったとも聞くので、気になっています。</p>
秋葉委員	<p>自分のときとは違って、教員の若返りが進んでいて、びっくりしています。この流れについては、メリットデメリット双方があると思いますが、若い人、ベテラン、色々な人の考えを生かしていければよいのだらうと思います。時代の流れだと思いますが、運動会では、今は順位のみに限らずみんなで競うという時代になってきているのかと思います。世の中の流れが急に変わってきているのを感じています。</p> <p>昔は、学校は休んではいけないところでした。今は、親の考えで休ませることも認めるようになってきていると聞きます。自分の時代では考えられないようなこともおきているのだなと感じます。</p>
校長	<p>今は、オンラインもあることも大きな変化です。タブレットは一つのツールです。若い教員はタブレットありきの授業をやっけてしまいがちですが、基礎基本をしっかり身に付けられるようにしたいと思っています。年代ごとにうまく融合していきたい。</p>

秋葉委員	一人ひとりのよさを十分生かしたいです。運動が得意な子、勉強が得意な子、一人一人様々だから、のびのびとよさを伸ばして行ってほしいです。
加納委員 校長	タブレットの持ち帰りについてはどのような状況ですか。 低学年には難しい部分もありますが、持ち帰りは実施しています。どんどん手紙類も電子化しています。今後、欠席連絡もスマホからできるようになる予定です。
秋葉委員	今は、学校だよりも地域の全世帯に配布となっていますが、今後スマホで見られるようになるのかもしれないですね。
加納委員	今でも学校だよりはHPで公開はされていますが、関係ない人は、自分から見ることはないと思います。回ってくるから見るという人もいると思います。全世帯配布でなくても、回覧でもよいのかもしれないと思います。
秋葉委員	関心のない人もいるかもしれませんが。前に全世帯配布ではなく、回覧ではどうか、という話もありました。回覧だと地区の班の数になるので、負担は軽くなります。ただ、各家庭でじっくりとみたいという人もいるから、難しいという話になりました。
教頭	学校だよりについては、今までの流れに則り、全世帯配布という形にしています。毎月3000部を印刷しています。今後、どのような形にしていくかは、各地区でも話題に取り上げていただけると幸いです。
教頭	<p>6 閉会の言葉</p> <p>貴重なご意見、ありがとうございました。次回は、2月15日を予定しています。今後ともどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>以上で、第2回大桑小学校・大桑幼稚園 評議員会議を閉会とさせていただきます。</p>
<p>会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。</p> <p>令和5年11月27日</p> <p style="text-align: right;">署名 <u>          教頭    萩原 健司          </u></p>	

(注) 特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。